

平成25年 月 日

環境省 総合環境政策局長 殿

所在 地  
商号又は名称  
代表者氏名

平成25年度環境NPO等ビジネスモデル策定事業（申請書）

標記の件について、次のとおり必要書類を添えて申請します。

- 1 応募様式
- 2 その他必要書類

(担当者欄)

所属部署名 :  
役職名 :  
氏名 :  
TEL :  
FAX :  
E-mail :

平成 25 年度 環境 NPO 等ビジネスモデル策定事業（応募様式）

応募団体の組織概要

法 人 名			代表者名 (役職名)	( )
所 在 地	〒 一		電話	
			FAX	
ホームページ			e-mail	@
組織体制	役 員	名	会 員	名
	専従者（従業員）	名	ボランティア	名
	パートタイム	名	そ の 他 ( )	名
これまでの環 境活動の実績	創 立 年	年		
	法人設立年	年		
これまでのソ ーシャルビジ ネスなどの事 業活動の実績				
過去に受けた 助成金・補助金 等の内容（単 位：千円）	時 期	対象事業	交付機関・制度名	金 額
	年 月			
	年 月			
	年 月			
直近 2 期分の 決算状況（単 位：千円） (注 1)	決算期	収 入	収支差額	正味財産（注 2）
	年 月 期			
	年 月 期			

(注 1) 最近 2 期分の決算書（写）(収支計算書と貸借対照表を含む。但し、勘定科目明細書は除く。) を添付してください。

(注 2) 正味財産は、資産から負債を差し引いたもの（自己資本）。

**① 該当要件（アイのいずれかに○を付けてください）**

- ア 団体の主たる活動エリアが東北地域（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）であり、活動実績を有している  
イ 東北地域の地域資源を活用する事業であり、東北地域の団体等（民間団体、行政等）と具体的な連携によって実施される事業  
(イに応募する場合には、東北及び関東の各地域を主たる活動エリアとする)

(①でイを選択した場合) 活用する資源または連携する団体

**② 応募団体の組織ミッション・経営理念**

**③ 事業計画のテーマ（事業に名称をつけ、テーマについて簡潔に記入して下さい。）**

事業名：

テーマ：

**④ 事業目的（環境課題の解決、自主財源の獲得など、事業の目的について記入して下さい。）**

**⑤ ビジネスマodelの概要（事業の骨子、大まかな内容について記入して下さい。）**

⑥ ビジネスマodelの実行可能性調査の方法

⑦ 事業の目的の達成度を測る指標（達成度を測る環境保全面改善指標の数値目標を記入して下さい。併せて、自主財源の改善目標についても数値目標を記入して下さい。）

⑧ 事業計画の策定プロセス（⑥の結果を踏まえた事業計画の策定の手法・手続等について記入して下さい。）

⑨ 事業計画策定に係る実施体制（リーダー、プロジェクトチームの構成、連絡体制について記入して下さい。特に、本事業の責任者については、明確にして下さい。）

⑩ 団体内の意思統一ははかられていますか（該当するものにチェックをしてください）

はい       いいえ

⑪ 本事業を進めるに当たり、協力や合意が不可欠なステークホルダーとの合意形成はできていますか？（該当するものにチェックをしてください）

はい       いいえ

⑫ 現在の取組段階（該当するものを○で囲む）

- ア 構想や立案を行っている段階
- イ 試行や錯誤を繰り返している段階
- ウ 一定の方向性が定まり、実証可能な段階
- エ ビジネスの確立に向けて事業化に取り組む段階

⑬ 組織の強み、弱みなどについて記入してください（SWOT分析などを活用して下さい。）

[SWOT分析]

組織の内部環境（「ヒト」「モノ」「カネ」などの経営資源）を強みと弱みに、外部環境（政治・制度、経済、社会情勢、技術、顧客、競合者などの市場環境）を機会と脅威に分けて分析する。

内部環境	強み	弱み
外部環境	機会	脅威

⑭ モデル実証事業の費用の見積もり（総額と内訳を記入して下さい。（単位：円））

直接経費	科 目	明 細	金 額
	人件費		
	謝金		
	旅費		
	消耗品費		
	印刷製本費		
	通信運搬費		
	借料及び損料		
	会議費		
	賃金		
	雑役労務費		
	その他経費		
	一般管理費		
	消費税		
	総 額（合計）		

\* 必要に応じて行や欄を追加していただいて構いませんが、全体の頁数は6頁程度にして下さい。